

停電後の復帰方法

型式 : CUF-30WM2
CUF-37M2
CUF-37M2K
CUS-37M2
CUF-46M1

平成16年9月8日
(株)コナ

注意事項

- ・時間帯別電灯契約をご利用のお客様の場合、沸き増しの操作を行っていただかないと、お湯は作れません。
- ・電灯契約を確認してお話下さい。
- ・停電時もブレーカーが「入」になっていた場合、一度「切」にした後「入」に戻して下さい。
- ・家のブレーカー、機器のブレーカーの両方を確認して下さい。

復歸の基本的な流れ

時間帯別電灯契約の場合

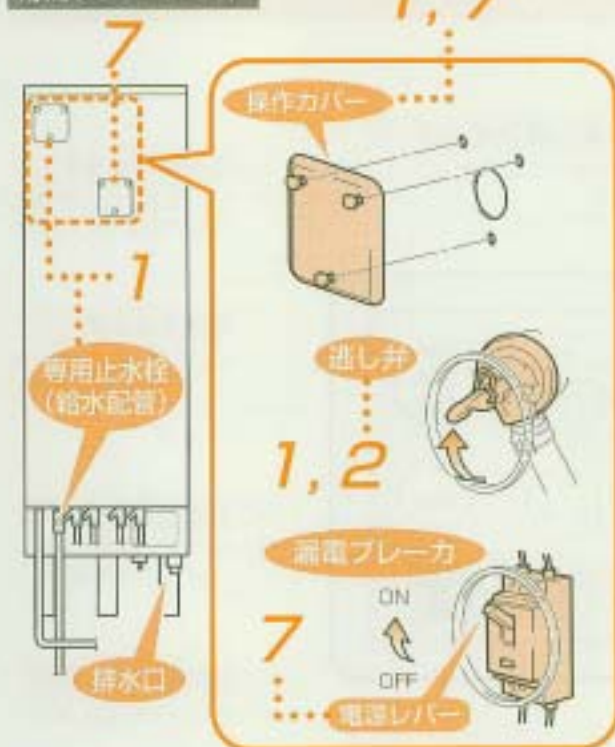
- 家のブレーカーと本体のブレーカーを「入」にする。
(「入」になっている場合は一旦「切」してもらい、再度「入」に入れてもらう)
- リモコンの時刻の設定をする。(設定方法は以下を参照)
- 昼間の沸き上げをお客様自身で行ってもらう。

はじめてご使用になるとき

○ 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットを満水にし、電源を入れます。

準備

貯湯タンクユニット



ヒートポンプユニット



1. 貯湯タンクユニットの操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げ、専用止水栓 (給水配管) を開きます。
 - 貯湯タンクユニットに水を入れます。
2. 貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを戻します。
 - 排水口から水が出てきたら満水です。
 - 満水までの目安は約30分です。
3. ヒートポンプユニットのカバーを止めているネジを取りはずし、下方へスライドさせ、ツメ (5箇所) をはずし、カバーを取りはずします。
 - 必要以上にスライドさせると、ツメ部が破損する恐れがあるので注意してください。
4. ヒートポンプユニットの熱交換水抜き栓を開き、エア抜きをします。
 - エアまじりの水が出ます。2分以上十分にエアが抜けるまで行ってください。周囲が水にぬれないよう注意してください。
5. ヒートポンプユニットのA側およびB側の水抜き栓を開き、エア抜きをします。
6. ヒートポンプユニットのA側、熱交換およびB側の水抜き栓を閉じます。
7. 貯湯タンクユニットの操作カバーをはずし、200V電源ブレーカを「入」にし、貯湯タンクユニットの漏電ブレーカの電源レバーを「ON」にします。

△注意

- 貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる。満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

時刻合わせ

メインリモコン



日付表示

8, 10

7, 9, 11

準備

7. を押します。

- 「年」が設定され、「月」が点滅します。



8. を押し「月」を合わせます。

- を押しと1箇月ずつ進みます。(押し続けると連続して進みます。)
- を押しと1箇月ずつ戻ります。(押し続けると連続して戻ります。)

9. を押します。

- 「月」が設定され、「日」が点滅します。



10. を押し「日」を合わせます。

- を押しと1日ずつ進みます。(押し続けると連続して進みます。)
- を押しと1日ずつ戻ります。(押し続けると連続して戻ります。)

11. を押します。

- 時刻が確定し通常の表示に変わり、時刻設定が完了します。浴室リモコンにも設定した時刻が自動的に表示されます。



お願い

- 約4時間以上の停電があったときや長時間電源を「切」にしていたとき、表示部は「-: -」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。
- 時刻は、ずれることがありますので、ときどき確認を行い時刻の修正をしてください。

時刻合わせ

- 現在時刻と年月日の設定をします。
- 設定時刻がずれていたり、午前 (AM) と午後 (PM) を間違えると、電気料金が高くなってしまいますので、正確に設定してください。
- 停電などで時刻が「- : -」バー表示のままでは、自動沸上げができません。

メインリモコン



時刻表示

2, 4, 6

1, 3, 5

準備

1. を押します。

- 「時」が点滅します。



お知らせ

- 時刻の設定中 (表示点滅中) に10秒以上スイッチが押されないとその時の表示時間で設定されます。

2. を押し「時」を合わせます。

- を押すと1時間ずつ進みます。
(押し続けると連続して進みます。)
- を押すと1時間ずつ戻ります。
(押し続けると連続して戻ります。)

お知らせ

- 時刻は12時間表示です。
昼の12時は「PM12:00」を、
夜の12時は「AM12:00」を表示します。

3. を押します。

- 「時」が設定され、「分」が点滅します。



4. を押し「分」を合わせます。

- を押すと1分ずつ進みます。
(押し続けると連続して進みます。)
- を押すと1分ずつ戻ります。
(押し続けると連続して戻ります。)

5. を押します。

- 「分」が設定され、「年」が点滅します。



6. を押し「年」を合わせます。

- を押すと1年ずつ進みます。
(押し続けると連続して進みます。)
- を押すと1年ずつ戻ります。
(押し続けると連続して戻ります。)

お湯をたくさん使うとき（強制沸増）

○ 来客などでたくさんのお湯が必要なときは、強制沸増を使用して貯湯タンクのお湯を沸増しします。

メインリモコン

強制沸増表示

沸増し中表示



お買い上げ時の設定
満タン
設定できる沸増量
50L・100L・満タン

お知らせ

● 強制沸増量は、オプション設定で、50L、100L、満タンを設定します。（→41ページ）

満タン設定のとき

1. **強制沸増** を押します。
 - 強制沸増モードに設定され、「強制沸増」表示が点灯し、沸上げを行います。
 - 貯湯量が約250L未満になると、「沸増し中」表示を点灯させ、満タンまで沸上げます。

2. 途中でやめるときは、もう一度 **強制沸増解除** を押します。

お知らせ

- **強制沸増** を押した日（押してから、その日の深夜まで）は何回でも沸上げ運転を行います。ただし、深夜（午後11時）に強制沸増は解除され、通常の運転に戻ります。
- 続けて強制沸増をする場合は、再度 **強制沸増** を押してください。
- 強制沸増を使用しているときは、運転モードの設定はできません。
 - 強制沸増を使用すると、昼間電力で沸上げを行うため電気料金は割高になります。

50L・100L設定のとき

1. **強制沸増** を押します。
 - 強制沸増モードに設定され、「強制沸増」表示が点灯し、設定された量を沸上げます。
 - 約50Lまたは約100Lを沸上げたら、沸増しは終了します。

2. 途中でやめるときは、もう一度 **強制沸増解除** を押します。

お知らせ

- 強制沸増を使用しているときは、運転モードの設定はできません。
- 強制沸増を使用すると、昼間電力で沸上げを行うため電気料金は割高になります。